八幡西中学校

作文『行動は世界を動かす』

八幡西中学校２年
佐藤　花穂さん

　世界では、未だに戦争が絶えない国があります。
日本では１９４５年８月１５日に終戦をしたあと、戦争は起こっていませんが、
世界に目を向けると戦争によって小さな子どもが命を落としたり、
生活に苦しんでいる人が多くいます。
私たちだけが不便なく生活を送っている現状のまま生きていて良いのでしょうか。
また、戦争以外にも平和ではないといえることが起きているのではないのでしょうか。
　日本は一見平和な国に見えるかもしれません。しかし、深く見てみるといじめや偏見
しかし、深く見てみるといじめや偏見などが未だに残っています。
戦争が終わってもこれらがなくならない限り平和とはいえないと思いませんか。
これらを無くすにはまず“自分から”行動することが大切だと思います。
そのためには何をしていけばよいのでしょうか。

　一つ目は「人を見た目だけで判断しない」ということです。
第一印象だけで人の性格を決めつけてしまい、その人のことを避けたり悪口を言ったり
していませんか？それらはいじめや偏見と言えるのではないでしょうか。
例えば、肌の色による差別が世界で問題視されています。
アメリカで白人の警察官が黒人男性を銃で殺害した事件を皆さんは知っていますか？
この白人の警察官は裁判により終身刑となりました。
この事件があってから黒人差別に反対する人たちがデモを起こしたりなどと、
社会が動くきっかけとなりました。

　二つ目は「相手の気持ちを考えて行動する」ということです。
自分が好きなように行動するのは間違っていると私は考えます。
相手にその行動をされたらどう思うのかや、
誤解してしまうような言葉が使われていないかなどを考えてから行動に移すことで
誰かが嫌な気持ちになることを防げるのではないのでしょうか。

　三つめは「いろんな人とコミュニケーションをとる」ということです。
そのためにはまず、挨拶をすることが大切だと思います。
初めて話す人でも、「おはよう」や「ありがとう」「ごめんなさい」などと
挨拶をしていくうちに仲良くなっていき少しずつお互いのことを知っていけるのでは
ないでしょうか。
そうして沢山の人とコミュニケーションをとっていけばいじめや偏見などの防止にも
繋がっていくと私は思います。

　いじめや偏見が重なることで戦争に繋がっていくのではないかと私は思います。
戦争はその勝敗に関係なく攻撃をする人も、被害を受ける人も全員が辛い思いをして、
だれかの幸せにつながることは一切ありませんし、決して許されるものではありません
そんな戦争をなくすためには、他の人の行動を待つのではなく
“自分から”行動していきましょう。
先程述べた3つの行動以外にもできることはあると思います。
それらの行動は戦争を無くす一歩に繋がります。
「平和な世界」となる日はいつ来るのでしょうか。